

# 八王子市

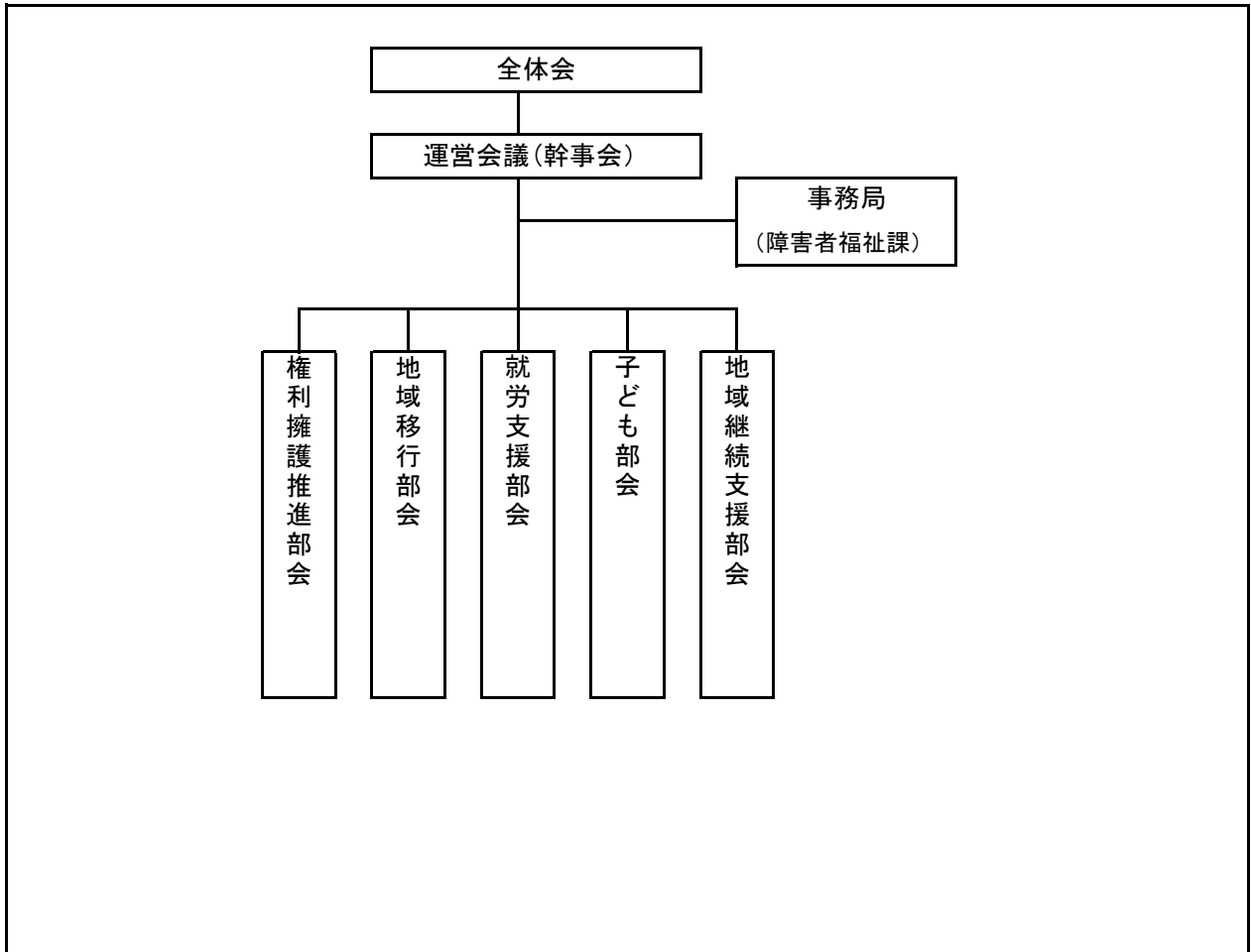
【名称】八王子市障害者地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/welfare/005/014/a7539516/p014190.html>

【設置年月】平成23年3月

【運営方法】直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	5	18	15	40	20

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
① 整備済	平成28年4月	② 面的整備型

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

### (1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
① あり	令和2年11月

### (2) 自立支援協議会等への日中サービス支援型共同援助に関する事業報告・評価状況

① 設けている

## 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
4	26 (7)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
権利擁護推進部会	8	13 (7)
地域移行部会	4	11 (1)
就労支援部会	2	10 (0)
子ども部会	3	16 (1)
地域継続支援部会	2	8 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

## 【全体会の委員構成及び活動内容】

### （1）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	1
障害当事者・家族・関係団体	7	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	4
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	3	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		

合計	26
----	----

### 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	中西 正司	生活支援センター びあ・らいふ	障害当事者・家族・関係団体	
2	副会長	矢嶋 里絵	東京都立大学 人文社会学部教授	学識経験者	
3		塚田 芳昭	相談支援センター サポート南多摩	相談支援事業者	
4		松尾 隆司	地域生活支援室 高尾	相談支援事業者	
5		八町 真理子	地域生活支援センター あくせす	相談支援事業者	
6		風間 美代子	相談支援センター 待夢	相談支援事業者	
7		三木 英子	若駒ライフサポート	障害福祉サービス等事業者	
8		石井 宏典	八王子ワークセンター	障害福祉サービス等事業者	
9		有賀 豊	マインドはちおうじ(リサイクルさかくさ)	障害福祉サービス等事業者	
10		久保田 美幸	恩方育成園	障害福祉サービス等事業者	
11		氏平 啓子	就労・生活支援センター ふらん	雇用関係機関	
12		土居 幸仁	八王子ワークセンター	障害福祉サービス等事業者	
13		笏田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会	障害当事者・家族・関係団体	
14		宮川 純	八王子視覚障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
15		宮本 一郎	八王子市聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
16		田丸 俊彦	レストランあさかわ	障害当事者・家族・関係団体	
17		福井 優	多摩草むらの会	障害当事者・家族・関係団体	
18		恒川 礼子	筋無力症患者会	障害当事者・家族・関係団体	
19		渡邊 洋子	八王子市保健所長	保健所	
20		井上 美保	東京都立八王子西特別支援学校 校長	教育関係機関	
21		元井 康正	八王子市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
22		井出 勲	八王子市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
23		尾川 幸次	八王子市町会自治会連合会	地域住民	
24		池田 ヒロミ	八王子商工会議所	企業	
25		木村 尚	公募市民	地域住民	
26		多和田 隆	公募市民	地域住民	

## (2) 活動内容

権利擁護推進部会、地域移行部会、就労支援部会、子ども部会、地域継続支援部会の5部会を設置し、様々な分野の方々と連携して障害者が本人の意向に基づいた必要な支援を受け、自立した生活を営むことができる社会を構築するための協議を行うとともに、障害者計画及び障害福祉計画、障害児福祉計画の進行管理と評価を行っている。

### 【専門部会の委員構成及び活動内容】

#### (1) 委員構成

種 別 \ 部 会 名	権利擁護推進部会	地域移行部会	就労支援部会	子ども部会	地域継続支援部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	0	2	1	2	0
保健所	0	1	0	1	0
教育関係機関	0	0	2	1	0
雇用関係機関	0	0	3	0	0
企業	1	0	1	0	0
障害当事者・家族・関係団体	4	1	0	1	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	5	3	0	1	0
障害福祉サービス等事業者	2	3	3	4	8
社会福祉協議会	1	0	0	0	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	1	0	6	0
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	13	11	10	16	8

#### (2) 活動内容

部会名	活動内容
権利擁護推進部会	令和2年度に合理的配慮及び障害理解を推進するために障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例を改正。改正に伴い、障害理解のガイドブック（好事例集）を作成。また、施設従事者向け虐待防止研修の実施
地域移行部会	市内外の精神科病院に入院中の八王子市民の実態調査を行い、地域移行の実践に向けての方策を検討するとともに、病院訪問ピアサポーター活動や地域移行個別支援会議のあり方検討の実施
就労支援部会	地域での障害者雇用、就労支援の現状把握、課題整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業での雇用管理、障害への理解促進</li> <li>・教育の現場、学校卒業生の就労支援</li> <li>・働く当事者の就業生活、生活設計</li> <li>・福祉サービスの利用</li> <li>・各所連絡会・研修会の開催 など</li> </ul>
子ども部会	地域で暮らす障害児の保護者が安心して暮らせる環境や将来自立した生活が送れるような切れ目ない支援に関する現状把握、課題整理、情報共有を実施
地域継続支援部会	利用者支援・事業運営等、事業者間での意見交換や研修、課題検討等を行う。部会に属している「日中活動支援事業所連絡会」、「グループホーム連絡会」及び「相談支援事業者連絡会」、「委託・拠点事業者連絡会」の4連絡会の活動が主であり、部会ではそれぞれの情報共有を実施

## 【地域協議会の活動状況】

### 1 地域協議会の協議事項（複数回答）

#### ① 相談支援事業の運営体制に関すること

地域継続支援部会のワーキンググループとして相談支援事業所連絡会を設置し、本市の相談支援の在り方や体制の整備、事業所職員のスキルアップやバックアップ体制について検討を行っている。

#### ② 就労支援に関すること

地域における障害者雇用及び就労支援の現状を把握、整理するとともに、学校卒業生への就労支援など自立支援への取り組みを進めている。

#### ③ 地域移行・地域定着支援に関すること

令和3年度より地域移行部会と地域継続支援部会にわけ、地域への移行とその後の継続的な支援体制についてより深い検討ができるようにした。それぞれの分野で地域移行から住み慣れた地域で安心して継続した暮らしができるための検討を行い、両部会が連携して対応している。

#### ④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

地域継続支援部会の下部組織である相談支援事業所連絡会において、65歳介護移行の時の課題が多いという意見が多くあり、高齢部門との連携や交流を図っていくことを検討した。高齢部門を招いての研修という形で実施した。

#### ⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

地域移行部会のワーキンググループとして地域移行個別支援会議を設置し、困難事例を含めた地域移行に関する検討を行っている。また地域継続支援部会の下部組織である地域生活支援拠点事業所連絡会では、拠点機能の強化について意見交換を行い、対応困難な事例に対する専門的支援員の設置などの検討を行った。

#### ⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

令和2年度に合理的配慮及び障害理解を推進するために障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例を改正。改正に伴い、障害理解のガイドブック（好事例集）を作成。

#### ⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

平成28年度から運用を開始したが、6年目を迎え様々な課題が発生しており、拠点機能の強化策を検討し、本市の相談支援体制整備とも調整しながら、よりよい拠点整備事業を目指した意見交換を行っている。

### 2 地域協議会としての役割（複数回答）

#### ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

地域継続支援部会に属している連絡会において、市内事業者間の様々な課題の検討、情報交換や研修を行っている。

#### ⑩ 権利擁護・虐待防止

障害差別や虐待について、個々の事例検討や障害理解に関する啓発活動の一環としてガイドブック（好事例集）を作成。ガイドブック（好事例集）を市職員向けに配布。また、事業者を対象とする虐待防止研修の実施

### 3-1 地域協議会における地域課題

#### ① あがっている

### 3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

#### ② 全体会、専門部会、各種連絡会等

### 3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

#### ① 相談支援の質及び量

相談支援事業所連絡会において、（本市はセルフプラン率が高いことから）より適切なサービスを受ける利用者が増えることを目指し、相談支援専門員対象のスキルアップ研修（65歳介護移行、医療的ケア児、基幹相談支援センター）を先進自治体や専門家の協力で行った。また相談支援体制の目指す方向性についての検討も行った。

### ③ 権利擁護・虐待防止

新型コロナウイルス感染予防のため未実施となった障害理解を進めるため「障害サポーター養成講座」開催に向けて取り組んでいく。

### ④ 高齢福祉分野との連携

相談支援事業所連絡会において、65歳介護移行というテーマを皮切りに、高齢者担当部署(行政)、包括、ケアマネから障害福祉担当部署(行政)と計画相談支援事業所が研修を受けるという取り組みを行った。今後、障害分野から高齢分野への研修なども行っていく予定

### ⑥ 緊急・災害等対応

災害発生時からの避難方法など、より多くの市民への理解を求めするため、協議会が携わって作成した「防災マニュアル」等を活用し、普及啓発に取り組んだ。

### ⑦ 医療的ケア

医療的ケア児が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための検討を行ってきた。法律の施行等もあり医療機関と連携している事業所へコーディネーター事業を委託できないかの検討を行った。令和2年4月から開始した、在宅レスパイト事業の活動状況の報告を行った。

### ⑧ 障害児支援

コロナ禍のため延期となったが、児童通所支援事業の質の向上のため、情報共有、研修等の準備を行った。

### ⑩ 地域移行・地域定着支援

地域移行の取り組みとして、コロナ禍ではあったがビデオレターなどを通じ、病院訪問ピアサポート活動を継続して行った。また地域精神病院の課題抽出のための準備を行った。コロナ禍のため、実施は来年度に延期となった。

## 3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

## 4 地域協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

### 4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方が

八王子市内の障害者団体で構成されている八王子障害者団体連絡協議会と調整し、様々な障害種別の方に参加できるよう推薦をしてもらう方法で対応している。

(2) 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

様々な障害種別の方に、安心して参加できるよう、会議資料や、当日の対応含め情報保障ができるよう体制を整えているが、会議体が多く複数の会に参加いただく障害当事者の方がいるため、負担が大きくなっていることが課題。

(地域協議会を設置している区市町村)

### 4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸い上げられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

普段から障害当事者と接している障害福祉サービス事業者や、福祉・保健・子どもに関連する行政職員を選出することで、地域で生活する多様な当事者の声を吸い上げられる構成としている。